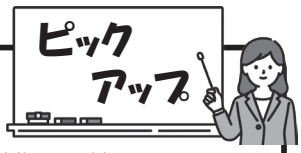
令和６年６月第２回定例会

道の駅ファームス木島平再整備計画関連予算などを審議

補正予算



令和６年度一般会計について減額補正を含め 469 万円増額の補正予算（第１号）（総額 37 億 2,832 万円）を全会一致で可決しました。

主な内容を抜粋してお知らせします。（千円以下を四捨五入）

産業企画室

・ファームス木島平の再整備に関わる費用（地盤調査・概算設計・アドバイス等）　537万円

産業課

・馬曲温泉修繕費（漏水数箇所）　200万円
・カヤの平高原　遊歩道草刈り委託費　38万円
・きのこ資材高騰対策の補助金（財源は全額県費）　200万円
・有機（堆肥）センター修繕(来年度予定)のための事前調査　25万円

子育て支援課

・保育園のフードキャビン（お弁当を温める機器）の更新　12万円
・スクールバス運行委託料の追加（バス会社の変更に伴い増額）　140万円
・小学校　指導者用デジタル教科書ライセンス　120万円
・小・中学校 教員用タブレット購入費の追加（購入機器変更に伴う増額）　35万円
・中学校 エアコン設置工事費の追加（値上げに伴う増額）　70万円
・給食センター　修繕費（ボイラーの部品交換）　66万円

生涯学習課

・農村交流館　修繕費（灯油ポンプの漏れによる移設）　39万円
・飯山市ジャンプ台使用料（720円×週3回×3名分）　13万円

建設課

・国土調査委託料（法務局の指示による境界復元に伴う再測量）　108万円

「令和６年６月定例会の審査意見」

【予算決算常任委員会】

意見① 馬曲温泉の修繕については、現状での引渡しが条件とされていた観点から、両者でしっかり協議されたい。

意見② 農の拠点施設の関連予算について、再整備計画が不確定な状況での予算計上に異論や懸念の声も多い。これからの施設のあり方の判断材料として、「地盤調査や整備費用の概算等は必要」との観点から、賛成多数で可決としたが、賛成議員の多くも迷いながらの決断であったことを報告する。

そのような状況を踏まえ、再整備にあたっては、道の駅構想に限らず、様々な観点から、将来をしっかり見据えた計画を慎重に検討するとともに、早い段階で、パブリックコメントのほか、対面での住民説明会等でしっかり意見を聞き、住民合意を得ながら進められたい。

議会だより
No.263

自然劇場

議会に対するご意見をお聞かせください。

電　話
☎0269（82）3111
（内線170）
E-mail
gikai@vill.kijimadaira.lg.jp

発行：木島平村議会
編集：議会だより編集委員会

みなさんからの請願・陳情

受理番号	件　　名	結果	対応・理由等
陳情第１号（継続審査）	年金制度における外国人への脱退一時金の是正を求める意見書の採択を求める陳情	継続審査	拙速な判断ができないため
陳情第２号	訪問介護費の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める陳情書	採択	内閣総理大臣、厚生労働大臣、財務大臣あてに意見書を提出しました。

議員からの発議

受理番号	件　　名	結果	対応・理由等
発議第３号	柏崎刈羽原発再稼働の安全性への説明と同意なき再稼働はしないことを求める意見書の提出について	全会一致可決	内閣総理大臣・衆議院議長・参議院議長あてに意見書を提出しました。
発議第４号	「地方自治法改正案」に反対の意思を表明する意見書の提出について	賛成多数可決	内閣総理大臣・衆議院議長・参議院議長あてに意見書を提出しました。

≪賛否の分かれた議案の結果≫

議　　案	議　　員　　名								結果
	関　達夫	湯本直木	湯本行浩	山本隆樹	山浦　登	丸山邦久	江田宏子	山﨑栄喜	
発議第４号 地方自治法改正案に反対する意思を表明する意見書の提出について	×	○	○	○	○	×	○	○	可決

■表の説明：○賛成、×反対（議長は議決に参加しないため、議員名から外しています）

発議第４号の採決

人事

●農業委員会委員の任命について同意しました

任期は、令和６年７月20日から令和９年７月19日までです。

佐藤　友保さん（西小路）　石川　和也さん（西　町）　丸山　一夫さん（中　村）
森　　勝紀さん（中　町）　竹内芳次郎さん（内　山）　渡邉　　孝さん（中　村）
佐藤　好恭さん（大　町）　梅嵜　行弘さん（南　鴨）　秋元　夏姫さん（大　町）
髙山恵美子さん（柳久保）

議会全員協議会（村からの提出案件）

４月26日
・協議事項：道の駅再整備事業について
　（サウンディング調査結果）
・報告事項
（１）道の駅施設使用料の滞納整理状況について
（２）馬曲温泉のリニューアル等について
（３）第７次総合振興計画について
（４）木島平村橋梁長寿化修繕計画の改定について

５月23日
・協議事項：道の駅再整備事業について
　（道の駅再整備事業に係わる整備方針案）
・報告事項
（１）農業委員の改選について

６月13日
・報告事項
（１）第７次総合振興計画素案の周知について
（２）企業版ふるさと納税について
（３）木島平村障がい者プラン（概要版）について
（４）休日の中学校部活動の地域移行について

6月議会定例会　村内視察（産業建設常任委員会）

橋梁の保全管理事業

橋梁４橋（越渡橋、三和橋、山口橋、吉ケ沢橋）の保全修繕工事が計画されています。村が管理する橋梁は 29 橋あり、全ての橋梁が定期的に点検されています。

「木島平村橋梁長寿命化修繕計画」の見直しが３月に行われ、予防保全の観点から補修を行うことが必要と判断された４橋について、今後５年間の中で補修工事が進められます。

今年度修繕が計画されている越渡橋

馬曲温泉

令和６年４月 27 日リニューアルオープン。詳細は広報５月号で紹介されています。まずは入浴のみのリニューアルオープンとなっています。ウッドデッキテラスが新設され本館からも絶景を楽しめます。

フォトスポットにもなっている
馬曲温泉入口ののれん

牧の入地区の水道事業

牧の入地区の水道事業は民間事業者で運営されていましたが、今後継続できなくなったことから、木島平地籍の住民等の皆様から、村の高社簡易水道からの給水を要望されています。村としては、現地確認等を行うとともに高社簡易水道の給水区域の拡大を検討しています。

「令和６年３月定例会臨時会の審査意見」に対する村の対応

委員会審査の過程で出された「審査意見」に対する村の対応の報告です。（要旨抜粋）

【予算決算常任委員会】

意見１「役場庁舎の夜間の宿直業務」について、専門業者へ委託する計画が示された。安全管理や村民対応などが低下することのないよう、事業者との調整・連携を密に図られたい。

対応１ 近隣市町村の例を参考に庁舎管理や住民対応などに配慮し、受託業者と調整しながら取り組んでいく。

意見２「温泉施設の入湯税」について、公平性の観点からも実態を確認し、今後の徴収に関して検討されたい。

対応２ 施設の状況等を確認し、木島平村税条例により適切に対応していく。

意見３「観光地域づくり推進事業」として、これまで同様、観光振興局への運営補助金交付のほか、体制強化のため、新たな「地域活性化起業人」や「地域おこし協力隊」の採用を予定している。誘客や関係人口の拡大などＤＭＯをめざし、観光振興局の役割を十分果たすよう、指導されたい。

対応３ 交流人口や関係人口の拡大にとどまらず、最終的には移住を目指すというような多様な取組みも必要となってきていることから、組織の取組み自体も含めて地域の活性化につながるよう支援していく。

意見４ コロナ禍を機に、夏祭りはじめ、村の事業等への参加者の減少が見られる。多数の参加を期待できるような内容や取組みを検討されたい。

対応４ 今年も村民スポーツフェスティバル、夏まつり、村民スポーツチャレンジデー、村民祭などを開催。村民の皆様自らが「参加したい」という事業になるよう、分館長主事会、公民館専門部、社会教育委員など関係者の意見を聞き、工夫しながら実施するとともに、館報「生き活き木島平」やふう太ネットによる広報により、広く参加を呼びかけていく。

３月定例会以降の議会活動

岳北広域行政組合の施設視察（４月26日）

岳北消防本部

岳北広域行政組合の７施設、グリーンパークみゆき野※１、岳北消防署栄分署、エコパーク寒川、最終処分場 埋立施設・水処理施設※２、岳北消防署野沢分署、みゆき野斎苑、岳北消防本部を視察しました。短時間ではありましたが、職員から施設のあらましと業務内容の説明を受け、いずれの施設も岳北地域住民の健康と安全・生活環境を守るために日夜活動されていることを目にして、非常に頼もしく感じました。

※１平成 12 年、最新の技術を導入し、し尿及び汚泥再生処理施設として建設された。現在の岳北消防本部に隣接している。
※２エコパーク寒川から出る焼却灰等を埋め立てる施設と、その施設から浸出した水を浄化する施設。

調布市・木島平村　姉妹都市議会議員交流（５月９日～10日）

議会議員の改選があった時、お互いの地を訪問し、交流を深めています。昨年は当村議員が９月の調布花火大会時に訪問しました。今年は調布市議会議員 28 名が来村。チームを編成しマレットゴルフ交流を行いました。リニューアルした馬曲温泉にも入湯いただき、懇親会は村三役も同席。からす踊りの話題も大いに盛り上がり、夏祭りに「ぜひ参加したい」との声も聞かれました。

懇親会にて勝山議長あいさつ

翌日は“旬”のアスパラガスを「何としても食べたい、採ってみたい」との希望により、村内の圃場での収穫体験。前夜は霜の警戒予報が出されていましたが、被害もなく、大収穫となりました。

食事では「ごはんがおいしい」とおかわりが続き、ぼくちそばも好評でした。

議員の相互訪問による交流は４年に一度ですが、調布友の会、市民農園などの活動を通じたより一層の交流を確認しました。来年は姉妹都市盟約 40 周年を迎えます。

議員ハラスメント防止研修（５月29日）

動画視聴によるハラスメント防止研修

ハラスメントの現状と影響を正しく理解し、ハラスメント防止のための根本的な考え方や話し方を学び、議員活動をより良いものにするための研修です。

無自覚なハラスメントによって、いままで「当たり前」と思ってやっていたことが実はセクハラやパワハラにつながることがあります。議員同士・議員と職員・対有権者等の事例や診断を通じて自己理解やハラスメント予防の認識を深めました。

議員によるハラスメントは、知識の不足・自己理解の不足が原因になります。そのため、まずは事例を通して、自分は今どこまで知識を持っているのか、自分はどんな議員特有のハラスメントを起こしやすいのか、「相手の尊厳と人格を傷つけてはならない」という意識とそれを具体化した言動を行うことが重要だということを学びました。

地域おこし協力隊との意見交換（6月20日）

会場の様子

地域活性化には、「行政」「隊員」「地域」の３者の連携が非常に重要です。現在、村には６名の隊員（１名育休中）がおり、連携を深めるため「議会と地域おこし協力隊との意見交換」を実施しました。

地域おこし協力隊は、移住・定住者や交流人口を増やすことを目的としています。

隊員に、木島平村を選んだ理由を聞きました。

・自然と共に生きる暮らしに憧れる。
・山と田園風景の四季の移り変わりは他では見られない。
・若い人達に村を良くしようと思う心がある。
・大量生産、大量消費という社会問題に興味を持っている。
・地域の食材や伝統工芸を活かしたプロダクトを手がけたい。
・地方を盛り上げたい。

各隊員の活動の進捗状況や今後のビジョン、地域活動にあたっての困り事などについて共有しました。地区の行事などにも積極的に参加しており、地域全体でうまく連携が取れるようにできればと思います。

活動する地域がとても好き、活動内容に興味がある、活動に生かせるスキルを持っている、人と関わることが苦にならない、チャレンジしたいことがある、任期後のビジョンを持っている隊員の今後の挑戦を応援してください！

各議員の一般質問の項目

6月5・6日に7人が一般質問を行いました。質問・答弁の要旨は来月（8月号）の議会だよりに掲載します。

第１日目（6月5日）

１　丸山　邦久
①産業振興について
②ファームス木島平について
③一般質問に対する村長の取組姿勢

２　関　　達夫
①村内農業の振興
②家庭ごみを考える
③地域の環境整備
④村長の行政責任を問う

３　湯本　直木
①スキー場・ホテルの運営会社の決算の報告について
②村の新たな観光資源発掘について
③中央駐車場測量業務実施後の状況について
④地域活性化起業人からの報告書について
⑤早稲田大学地域連携プロジェクト事業の効果について

第２日目（6月6日）

１　江田　宏子
①第７次総合振興計画の策定に向けて
②ファームス木島平の再整備について
③支え合いの村をめざして

２　山本　隆樹
①空き家対策の現状は
②高齢者活躍支援について

３　山浦　　登
①スキー場の運営について
②学校給食費無償化について
③少子化・過疎化対策について
④地方自治法改定案について

４　山﨑　栄喜
①道の駅ファームス木島平再整備事業について

次回定例会の開催予定

【9月議会定例会】※現時点での予定です。

開　会　日	8月30日(金)
一般質問①	9月４日(水)
一般質問②	9月５日(木)
閉　会　日	9月13日(金)

請願・陳情の受付締切日

8月14日（水）午後５時

議会事務局へ直接お持ちいただき、事務局員に説明をお願いします。

定例会・臨時会の会議録は、どなたでもご覧いただけます

会議録は、定例会・臨時会の本会議記録を載せています。
次の場所・方法で閲覧できます。
・役場２階の議会事務局での閲覧（平日午前８：30 ～午後5：15）
・村公式ウェブサイトに掲載

木島平村で検索して、次のように進んでください。

公式ウェブサイト(トップページ下段)の **木島平村議会** ➡ **会議録**

※６月定例会会議録は、現在作成中のため、次回定例会までに掲載予定です。

議会会議録

スマートフォン・タブレットからは、ＱＲコードの読取りでご覧いただけます。

議会を傍聴しませんか

本会議は、どなたでも傍聴できます。

傍聴席は、役場２階 議場後方が入口です。

また、本会議は、ふう太ネットで生放送および再放送をしています。

開会日と閉会日の再放送は、当日の午後７時からです。一般質問の再放送は、ふう太ネット番組表または音声放送等でご確認ください。

議会だより編集委員

委員長	江田宏子
副委員長	山本隆樹
委　員	山浦　登
	関　達夫
	湯本直木
	湯本行浩

ちょっといっぷく

編集後記

昨年の５月に村の議会議員選挙で村議会議員になりましたが、選挙は無投票、それも定員に１名達しない欠員選挙の結果となってしまいました。本来であれば定数以上の立候補者があり、選挙戦をしっかり戦い自分の考え方や主張を訴え、村民の皆様の民意を問い、議場へ送っていただくというのが本来の姿だと思っています。今、全国的に議員のなり手不足が問題となっています。そこには年齢や報酬、女性の参加など様々な問題が絡んできていますが、我が村ではどうすれば、この問題が解決されるのでしょうか。やはり議員が率先して議員を増やす活動をしていくべきと考えています。全議員の思いや力で今のこの現状を打破できるように、議員活動をしていきたいと思います。それには村民の皆様のご理解とご協力が必要です。（苦説（くどき））

AIなおき